

まるこやま

第78号

令和5年3月21日

〒699-1251
雲南市大東町大東2419-1
大東交流センター
TEL(0854)43-2130



E-mail:daito-c@daito-center.org
http://user.yoitoko.jp/daito-c/

大東交流センターだより

発行：大東地区自治振興協議会



3月1日 大東高校卒業式 

い ふ う どう どう
威風堂々

高校生活の大半をコロナ禍で過ごした
生徒たち81人が万感の思いを胸に母校を
巣立っていきました。



栄光の日本

第29回俳句大賞 栗原稜歩さん受賞



受賞作品が刻まれた副賞のクリスタル楯

全国の俳人協会会員を対象とする「第29回俳句大賞」に応募総数6059句の作品が寄せられ、昨年10月24日に開催された選考会で、最優秀作品である「俳句大賞」に本町の栗原稜歩さんが選ばれました。

栗原さんは「出雲」

主宰をはじめ、俳人協会島根県支部顧問、県俳句協会副会長、「山陰中央新報」俳句欄選者を務められるなど、県俳句界の重鎮です。

作品の

ほうたると同じ水飲み老いにけり

に対し、選者の一人は「自然とともに暮らして、老いていく。人間の暮しの原初的なものを感じる」と評されました。正に、幼い頃からの幻想的なホタルの情景をいつまでも心に抱きながら、自然と命の大切さを詠まれた句です。本当に受賞おめでとうございます。

中学生の

ロボコン大会

～島根県勢 初の快挙～
大東中学校全国1位!

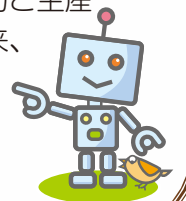


大東中学校クリエイティブ部が、1月28日に開催された「全国中学生ものづくり教育フェア」に出場しました。そして、「全国中学生ロボコン大会」において、ついに出場58チームの中で全国1位となる文部科学大臣賞を受賞する快挙を成し遂げられました。

大東中学校クリエイティブ部が、1月28日に開催された「全国中学生ものづくり教育フェア」に出場しました。そして、「全国中学生ロボコン大会」において、ついに出場58チームの中で全国1位となる文部科学大臣賞を受賞する快挙を成し遂げられました。

3年生の山根湊太さん、澤和楓音さん、松本航希さんの3人が手がけたロボット「冬の旅路」は、半年前から、これまでのロボットの性能やプログラミングの技術に改良を加え、その成果を見事に発揮されました。

世界でもトップクラスの科学技術力と生産技術力を持っている日本ですが、将来、こうしたモノづくりの屋台骨を担う人材が、大東中学校の取組からも生まれてくることを期待します。

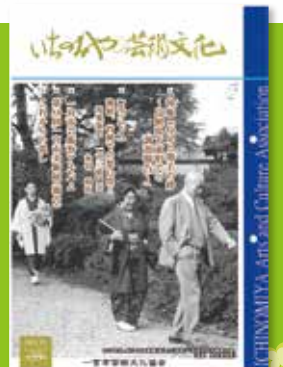


大東図書館
だより

昭和を代表する女性洋画家の一人「三岸節子」に関する大東町での調査レポートが、愛知県一宮市芸術文化協会発行の機関紙に掲載されました。(令和3年12月調査来町)

吉田章義さん(長兄:旧清久鋳業株式会社社長)の物心両面にわたる支援や深い絆、「吉田御殿」での様子などが報告されています。

いただいた機関紙が大東図書館、大東地域交流センターに置いてありますのでご覧ください。



掲示板

パチリ



お互い様の助け合い精神で

今年の冬も2回にわたりまとまった降雪があり、大東地区連坦地街中幹線市道の除雪車による除雪作業がありました。道路の両側には住宅が立ち並び、作業により寄せられた雪は玄関先や車庫出入口等をふさぐため、ご近所の皆様同士協力して排除されました。また、通学路歩道の除雪にあたっては、除雪ボランティアの皆さんにより早朝より除雪いただきました。一方、自力で除雪が困難な高齢者世帯等の住宅の除雪費に対する雲南市からの除雪費用援助を受けられた方もありました。



春の訪れ節分祭

「鬼は外、福は内」。節分の3日、加多神社で開運などを願う節分祭がありました。年男・年女のみなさんが拜殿回廊からコロナ退散、家内安全などの願いを込めてまかれた福豆や福餅を大勢の参拝者が福を求めて手を伸ばしました。例年の鬼払い行事はありませんでしたが、2年ぶりにかもめ保育園児も参加するなど、徐々に通常に戻りつつあります。



星祭節分会水行大祈願

2月4日、本町・成蓮寺で星祭節分会がありました。星祭とは、古来より伝わる秘法により、一年毎に廻ってその年の吉凶を左右する当たり星(当年星)をお祀りし、「厄除け」や「無病息災」「開運招福」を祈願する法要です。星回りの悪い年は悪事災難を免れるよう、善い年はより一層善くなるよう、ご祈願されます。当日は、まだ雪が残る境内で3人の僧侶が水行を行い身を清めた後、本堂で本年の開運と厄除けを祈願されました。



「みんなで楽しくふれあい遊び」 大東子育て支援センター

2月8日に「ふれあいあそび教室」を行いました。ベビーマッサージ、親子のふれあい遊び、布遊び、紙芝居や大型絵本の他、干支にちなんだうさぎの帽子をかぶってうさぎ風船を飛ばして楽しく遊びました。豆まき遊びでは、鬼のタペストリーに向かって「鬼は～外、福は～内」。お母さん達も一緒に笑顔で豆のボールを投げていました。

大東子育て支援センターでは、子育て親子の交流の輪を広げるため「赤ちゃん・子育て教室」や季節の行事など、親子で楽しめる会を開催しています。日頃忙しいお母さん達が少しほっとできたり、みんなで集まって楽しい時間を過ごしてもらえるような居場所づくりをしていますので、ぜひ遊びにお出かけください。詳しくは、雲南市の子育てポータルサイトや「だいとう子育て通信」をご覧ください。



デジタル社会の到来

インターネットや人工知能といった技術革新の急速な進展に伴い、小学校、中学校、高等学校におけるプログラミング教育の取組が進んでいます。学校以外でも「ロボット教室」「プログラミング教室」等の開催も盛んにおこなわれるようになり、大東地域交流センターであった教室体験会をのぞいてみました。



大東小学校創立150周年

記念事業実行委員会

大東小学校PTA活動の思い出

元PTA会長 小山 益男



大東小学校が創立150周年を迎えるということで、昔のPTA活動の思い出を語れと言われた。

何せ25年ぐらい昔の話であ

り、私の記憶ではいささか心もとなく当時活動を共にした友人に聞いたりしながら思い出そうとしている。

当時は通常の活動として、会報「せんだん」の発行、環境整備の奉仕作業、運動会、親子活動などを文教部、環境部、保体部、学年部で取り組んでいた。

ある時、誰の発案だったか覚えていないが、町の社会福祉協議会主催の年末チャリティー芸能大会に大東小PTAとして出演しようということになった。

演目は演劇「水戸黄門」、脚本、演出、監督、キャスト、大道具、小道具などすべてPTA役員及び会員有志であったが、配役の中には、路傍のお地蔵さんにS校長先生、悪代官とつむむ廻船問屋にY教頭先生があった。

筋書きは皆さんご存じのとおりで、藩政をゆるがす悪人どもを懲らしめ、領民に平和をもたらす水戸ご老公漫遊的一幕である。

私は、姫が嫌がる結婚を無理やり押し付けようとする殿様の役をいただいたが、最後に黄門さま

からお叱りを受け、「ご老公のお言葉、肝に銘じます」とセリフを吐いたことを覚えている。

公演までにはいろいろな準備があった。舞台の背景、登場する馬やお地蔵さん用の大道具、小道具は役員の中に大工さんや画家、美術の先生がおられ、かなり本格的なものできた。

キャストには台本が渡され、小学校の体育館での練習、前日のリハーサルを経て本番を迎えるまで不安で一杯だったが、最後は全員開き直った心境ではなかったかと思う。

今思えば、どこにあれほどのエネルギーがあったのかと不思議な気持ちで回顧している。

また、役員会の中で子供の健康問題が話題となり、制服を見直す目的で制服（自由服）検討委員会を設置した。

いろいろ議論はあったが学校側も含めて協議を重ね、会員へのアンケート、既に行っている学校への視察、制服取り扱い業者との協議などを行った。

見直しについては自由服にすると華美にならないか、入学式、卒業式などの時にはふさわしくない、制服の方が楽でよいなど様々な意見があったが、最終的にはいわゆる制服を廃止し自由服とすることになった。

私自身その後について十分な検証をすることもなく役員を卒業したので、果たして見直しが良かったのかどうか、現在の児童、保護者の皆さんの評価はどうだろうかなど、この問題についても感慨深い思い出である。

まなびの泉

上町公民館 若葉書道教室 「継続は力なり」

大東小4年 和多田光流

若葉書道教室に通っています。もともとぼくは、左利きということもあって、きれいな字を書けません。もうげんかいだと思って、昨年7月に一度やめました。やめてからたまたま家で毛筆を書いてみたら、信じられないくらい下手になっていました。やっぱりコツコツがんばるのが大事なんだなと思って、一か月後にまた練習を始めました。廣野先生や友達からはげまされながら、何とかおけい古に付いて行っています。



大東中1年 稲村 安珠

私は保育園の年長から若葉書道教室に通っています。初めころは、全然思った通りに書けなくて泣いてばかりでした。ですが、先生のアドバイスを受けて、たくさん書いているうちにどんどん上達し、字を上手く書くことがとても楽しいことだと気付きました。今では毎週習字がある日がとても楽しみです。私に字を上手く書くことが楽しいと感じさせてくださった先生に感謝しながら、これからもきれいな字を心掛けていきたいです。



時代は移ろいゆくけれど…。

金成下 藤原 結美



幼少の頃から動物と自然に囲まれた環境で育ちました。犬、猫、牛を飼っていて、農業も無農薬かつ牛糞を使った有機栽培。主に祖父母がそのほとんどを切り盛りしていました。物心ついた頃にはそれが当たり前になっていて、遊びも自然の中でよく遊んでいました。学校の中でも牛を家で飼っているのは私だけで、なんだか誇らしく思っていました。当時の祖母が「牛使い」のように見えて、子ども心にすごい!と思ったことを覚えています。

大人になり祖父母も前ほど農業に専念することもなくなり、牛飼いを辞めるとい話も出てくるようになりました。私が祖父母の後を継いで牛飼いをしようと決心したのは最近になってからのことです。

二つ大きな転機がありました。

一つは恩人である獣医師のA先生の存在です。A先生は本当に牛が好きな優しい先生で、私に様々な事を教えて下さいました。そのA先生も去年お亡くなりになり、今いる親牛はA先生がご病気になった際に譲り受けたものです。A先生に出会っていなかったら牛飼いは辞めていただろうと思います。

もう一つの転機は、甥っ子の存在です。私には、4才になる甥っ子が二人います。どちらも離れて暮らしていますが、甥っ子はとても良く懐いてくれています。遊びに来た時、自然の中を散歩した



り、田んぼの生き物を観察したり、牛に餌をやったり、自然と動物に触れ合っている姿を見て、幼少期に感じた感情を2人にも感じて欲しいという思いが芽生えました。私の仕事を通じて命の大切さや命をいただくということについて考える機会になればと思っています。

今後は牛たちの為にももっと自然に近い形での飼育を目標としています。そして……
目指せっ!!「牛使い」!!?(笑)

参考添付 (かつての家畜飼養状況)

種別	昭和35. 2. 1		昭和40. 2. 1		昭和41. 2. 1	
	飼養農家数	飼養頭羽数	飼養農家数	飼養頭羽数	飼養農家数	飼養頭羽数
乳用牛	191	293	224	631	247	437
役肉用牛	1,877	2,796	1,577	2,298	1,575	2,346
馬	9	9	2	2	-	-
豚	62	115	74	287	-	-
めん羊	191	249	34	42	-	-
山羊	443	448	194	199	-	-
にわとり	2,084	41,973	1,209	104,820	907	92,241



おかげさまで

音楽教室講師 高橋るみ子 (大木原)



(絵:大東町東町北 細田 滋)

こんにちは!

町内大木原で音楽教室をしています。おかげさまで30年程になります。5才~70代の方と、ピアノ・ドラム・歌のレッスンをさせて頂いています。小さいお子さんは、リトミック活動も含めてレッスンをしています。

皆さんの演奏に向かう真剣なまなざしと集中力、そして心から奏でる音は素晴らしいパワーを持っています。そのパワーが出た瞬間、演奏はイキイキと輝き、素敵な時間と感動をプレゼントしてくれます。そんな瞬間は演奏者と気持ちが“ピタッ”と合った時なので、一生懸命に演奏する楽しさを、みんなも感じてくれていると思います。それは向上心につながり、自信と力が身に付きます。

私も、みんなからパワーをもらって自分も発信して皆様に感謝しながら楽しんで、あと10年・20年(!?)頑張りたと思います。

皆さんも一緒に素敵な時間を過ごしましょう!



みつたに きみお
光谷 公男さん (東町南自治会)

32年間、雲南市内(旧大原郡内)の小学校で教員生活を送られました。定年後も子どもたちとのふれあいを大切に、八十路を過ごす今も、時々市内の小学校などで子どもたちと手作りおもちゃに勤しむ「作って遊ぼう」の光谷公男さんにお話を伺いました。

Q 先ず教師時代のことを伺いました。

温泉小学校を皮切りに教員生活をして加茂小学校で定年を迎えました。
1番長かったのは海潮小学校で8年間勤めました。この8年間の内2年間は自転車での通勤をし、楽しかったことが心に刻まれています。行きは上りてこぎっ放し、帰りは下りてスーイスイと帰ることができました。周りの景色を眺めながら、散策しながらの通勤でした。
教員後半は特別支援学級を担当しました。さまざまな障害のある子どもたちとのふれあいが心に残っています。

Q 今日も沢山の手作りおもちゃをお持ち頂きました。

私たちの子ども時代は自分で作らないと遊べない時代でした。上級生に教えてもらってつくり、競って遊びました。私は子どもたちにも作りを体験させて、つくる喜び、つくったもので遊ぶ喜びを伝えたいと思っています。
先日は、缶ぽっくり2種類を子どもとつくりました。1つは裸足でひもを指で挟んでポックリポックリ歩くもの、もう1つは靴を履いても乗れるものを作りました。
大東小学校では凧づくりをしました。30人の子どもたちと30個つくりました。材料は竹ひご3本と障子紙です。私たちの子ども時代の材料でつくらせました。環境にやさしい材料です。
私は竹とんぼをつくりますが、子どもたちには紙でつくらせています。紙とんぼは3種類あり、どの種類もおどろくほどよく飛びます。羽だけ飛ばすものは、飛ばす道具が必要です。この飛ばす道具を工夫するために2カ月くらい考えました。この羽だけ飛ばすものは室内では危険なほどよく飛びます。

大人でも欲しくなるほど凄いいんぼばかりです。

万華鏡も作ってもらいます。高齢者会や子どもたちとつくります。カガミ3枚とケースと筒でつくります。今年も大東小でつくりました。ケースの中には草の実、葉っぱ、ビーズなどいろいろなものを入れます。入れるものによって変化しますからそれが楽しみの1つです。試験管を使ったものは、水の中に入れたオブジェクト(ビーズ、貝など)が常に動きますから不思議な模様が次から次と現れます。

とても綺麗でまるで水族館にいるようです。

紙飛行機は2種類つくります。1つは遠くへ飛ぶもの、もう1つは滞空時間の長いものです。A4、B4、A5、B5の半分でつくります。この2種類をつくるのに今までに1万枚以上折ったのでしょうか、やっと見通しがもてました。毎日何枚も折りますから連れ合いに呆れられています。

そんなことはありません。より遠くへ、より長く飛ばしたい。思いは一緒、通じてますよ!

コマも3種類つくります。コマづくりはどうすれば長く回るかを考えます。

お正月には孫たちと百人一首をつかって「坊主めぐり・姫めぐり」を楽しんでいます。

こうした遊びを多くの子どものとてきたらと思っていますし、文化として伝えたいと思っています。今の子どもたちもつくるのが大好きですし、つくったもので遊ぶことも大好きです。子どもたちが、ものづくりができる環境が整えられれば嬉しいですね。切に願っています。

蕎麦づくりも好きでよく作りますし、ダシ・麵つゆも私がつくります。

近頃は、東町「こふのとて」句会に入り俳句も作らせてもらっています。

「切る音のリズム軽やか春近し」

「弾む足 梅ちらほらと咲きにけり」

まだまだ未熟ですが楽しく作っています。

何でも集中・熱中するものがあると人生も楽しくなりますね。

風呂敷包みを開けると玉手箱のように手作りのおもちゃが一杯。童心に帰って感動、どれも欲しくなるものばかり。「齢(よわい)を重ねても挑戦する気持ちは変わらないよ。」と瞳が輝きます。

夕食は息子さん夫婦、お孫さんたちも一緒に楽しく賑やかに食卓を囲みます。うらやましい限り「これからも手作りおもちゃに関わって行きたい。そして一緒にものづくりをし、作り方を教えていくことに生き甲斐を感じています。」とも。自作の詩集「まほうのくつ」も読まさせていただきました。

お話を伺いながら未来ある子どもたちへの思い・ものづくりへの情熱がひしひしと伝わってきました。

子どもたちの夢と希望を乗せて凧も紙飛行機も竹とんぼも空高く「舞いあがれー!」

更なる高みを目指し「作って遊ぼう名人」の挑戦は続きます。

(記、西村 武)



【香典返し】

- ・大東町(新庄南) 中井 映治 様
- ・大東町(大木原) 蘆田八重子 様

**ご寄付に感謝
致します**

皆様からお寄せいただいたご寄付は地域の絆を深め、支えあう活動に対する補助金等に活用させていただいております。

大東地区振興あいあい募金運営委員会 (TEL: 43-2130)

■令和5年2月末現在の人口・世帯数

【()内は対前々月比】

項目	雲南市	大東町	大東地区
総人口	35,606人 (-132人)	11,342人 (-50人)	3,380人 (-25人)
男性	17,179人 (-52人)	5,542人 (-21人)	1,640人 (-10人)
女性	18,427人 (-80人)	5,800人 (-29人)	1,740人 (-15人)
世帯数	13,593世帯 (-4世帯)	4,117世帯 (-2世帯)	1,277世帯 (-1世帯)
高齢化率	40.34% (+0.07%)	40.43% (+0.14%)	—

資料：雲南市HPより